

令和2年度

学校評価報告書
(自己評価・学校関係者評価)

令和3年3月31日(水)

沖縄県立名護商工高等学校

目 次

一 令和元年度学校評価の目的及び実施方法

1 目的	1
2 評価対象(学校評価実施計画全般)	1
3 実施方法	1

二 令和元年度学校評価実施計画

1 評価の種別	1
2 日程	1
3 各評価の実施方法	2

三 学校評価（自己評価）

1 今年度の状況	
(1) 今年度の取り組み・学校行事等	3
(2) 学籍（在籍・異動・休学・退学等）状況	5
(3) 学業成績状況	5
(4) 勤怠状況	6
(5) 進路決定状況	6
(6) 生徒指導の状況	7
(7) 長時間勤務状況	8
2 自己評価（アンケート結果考察）	8

（付録）学校評価に係る生徒・保護者・教職員アンケート結果

- (1) 生徒アンケート結果
- (2) 保護者アンケート結果

一 令和2年度学校評価の目的及び実施方法

1 目的

この要項は県立学校管理規則第63条、学校評価実施要項(平成14年3月26日県立学校教育課長決裁)及び本校学校評価実施計画に基づき、教育活動全般にわたって、総合的・客観的・具体的に評価し、成果と課題等を明確にして教育目標を達成するために行う。

2 評価対象(学校評価実施計画全般)

教育活動全般(教育目標、教育計画、学習指導、校務分掌、生活指導、その他)のうち、学校が定めた当該年度の重点目標について評価項目を設定する。

3 実施方法

令和2年度沖縄県立名護商工高等学校評価は自己評価及び学校関係者評価を実施する。

- (1) 自己評価は教職員アンケートの集計結果及びその他の評価資料に基づき評価し、職員会議で審議する。
また、教職員アンケートは生徒アンケート、保護者アンケート及び各部、学年・教科等会の反省会議資料等をふまえて、全職員に実施する。
- (2) 学校関係者評価は保護者、学校評議員等を学校関係者評価委員として選任し、自己評価及びその他の評価資料を学校評議員会において報告を行い、評価する。

二 令和2年度学校評価実施計画

1 評価の種別

(1) 自己評価

教職員アンケート及びその他の評価資料に基づき評価する。

①教職員アンケートは以下の資料を参照し、全職員に実施する

- ・生徒アンケート
- ・保護者アンケート
- ・その他(学業成績状況や進路状況、生徒指導状況等)の評価資料

②その他(学業成績状況や進路状況、生徒指導状況等)の評価資料

(2) 学校関係者評価

自己評価及びその他の評価資料をもとに評価する。

2 日程

12月9日(水) 職員会議提案 → 12月18日(金)まで意見聴取期間

1月18日(月) 保護者アンケート依頼文配布 ～1月29日(金)

1月15日(水) 1～3年生アンケート実施 ～1月30日(木)

3月3日(火) 教職員アンケート実施 ～3月6日(金)

3月9日(月) アンケート集計・分析 ～3月12日(木)

3月13日(金) 職員会議において結果報告

3月16日(月) 第3回学校評議員会において報告・評価依頼

3月16日(月) PTA3役へ報告・評価依頼

3月下旬 PTA評議員会へ報告

教育庁報告

学校Webページ掲載・職員会議報告

3 各評価の実施方法

(1) 自己評価

- ①重点取組事項（10 項目）について、それぞれ評価項目（合計 31 項目）を設定し、職員アンケート及びその他（学業成績状況や進路状況、生徒指導状況等）の評価資料に基づき評価を行う。
- ②評価基準を以下の 4 段階で行う。
A：ほぼ達成（8 割以上）、B：概ね達成（6 割以上）、C：変化の兆し（4 割以上）
D：不十分（4 割未満）
- ③自己評価項目内容（別紙 No 1～No3 参照）
- ④教職員アンケートは生徒アンケート、保護者アンケート及びその他（学業成績状況や進路状況、生徒指導状況等）の評価資料を参照し、目標達成状況を 4 段階で評価する。
評価項目については自己評価項目と同様である。
 - ・生徒アンケートは、学校生活や学習指導及び進路指導等の 7 項目で、21 の質問内容について 5 段階で満足度を問う。実施については、LHR または朝学習の時間等を用いてインターネットを利用して行う。質問内容については別紙 No4 を参照。
 - ・保護者アンケートは、学校生活や学習指導及び進路指導等の 9 項目で、26 の質問内容について 5 段階で満足度を問う。回答については、インターネット及び紙媒体を併用し、学校ホームページや依頼文書で周知する。質問内容については別紙 No5 を参照。なお、紙媒体については、HR 担任で回収し集計は管理者で行う。

(2) 学校関係者評価

- ①自己評価及びその他の評価資料等から重点取組事項（10 項目）別に 4 段階で評価する。

(3) その他の評価資料

自己評価及び学校関係者評価で活用する「その他の評価資料」とは以下をいう。

- ①学籍状況
- ②学業成績状況
- ③勤怠状況
- ④進路状況
- ⑤生徒指導状況
- ⑥長時間勤務状況

三 学校評価（自己評価）

1 今年度の状況

(1) 今年度の取り組み・学校行事等

年 月 日	沿 革
令和2年 5月 7日	1学期 始業式（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため始業式を延期して実施）
5月21日	第14回入学式（機械システム科33名、電建システム科38名、総合情報科34名、商業科26名、地域産業科19名、計150名 入学）
5月18日	三者面談（～26）
6月17日	令和2年度 6.23平和学習会（生徒会）
6月22日	生徒会執行部自主企画 Withマスクキャンペーン～コロナぶっころな！！～（～30日）
7月16日	第二級陸上特殊無線技士試験合格 16名（電気技術コース） 第二級海上特殊無線技士試験合格 16名（電気技術コース）
7月23日	令和2年度第13回沖縄県高等学校総合体育大会ボウリング競技 男子個人7位 3-1新垣清夜
7月23日	令和2年度第13回沖縄県高等学校総合体育大会ボウリング競技 男子団体3位 3-1新垣清夜・3-3比嘉希
7月25日	令和2年度沖縄県高等学校総合体育大会ボクシング競技 フライ級3位 2-2松田理希
7月22日	第13回沖縄県高等学校IT選手権大会：表計算部門：団体2位、個人2位 運天悠之亮、3位 佐々木琉雄、4位 棚原颯天
7月25日	第72回県民体育大会水泳競技大会 男子平泳ぎ200m 3位 2-3大城 寛汰
7月31日	第44回全国高等学校総合文化祭写真部門、文化連盟賞、3-3室田智弘
8月24日	生徒会長選挙 第13代生徒会長 2-2 宮城彩群
8月28日	1学期 終業式
8月31日	2学期 始業式
9月10日	名護商工体験入学・学校説明会
9月15日	令和2年度第1回 学校評議委員会（文書）
9月16日	進路講演会 講師：江崎誠 演題「自分のものさしを持つ」
9月25日	令和2年度リーダー研修会
10月 9日	学生かりゆしデザインコンテスト2020 銀賞 3-3安村 柚碧
10月14日	第5回ローソン沖縄×沖縄県商業高校商品開発プロジェクト ”商品企画「低糖質シークワサーパイ」” グランプリ受賞” 3-4上原千優奈、津波 樹、豊里百瀬
10月17日	合同販売実習
10月25日	令和2年度沖縄県高等学校新人体育大会第38回沖縄県高等学校新人水泳（競泳）競技大会 男子平泳ぎ50m 3位 2-3大城寛汰
10月30日	第57回 読書感想文感想画 支部コンクール 優秀賞 3年4組 祖慶孝介（沖縄県高等学校図書館協議会）
11月 1日	ITまつり2021（オンライン版）（総合情報科展示、～2/28）
11月 8日	第42回 九州高校放送コンテスト沖縄県大会 ラジオ番組部門優秀賞 『To be continued...』 2年5組 澤岬桃菜、1年3組 井手ひなた
11月10日	教育センター実習「産業教育」（商業科1年対象）
11月10日	学生かりゆしデザインコンテスト2020 銀賞『波にゆられて』3-3安村 柚碧
11月12日	沖縄県高等学校商業実務競技新人大会 珠算の部：団体3位、個人総合準優勝2-4外間叶琉 電卓の部：個人総合7位2-5比嘉琳琉
11月13日	第58回技能五輪全国大会（愛知大会）「移動式ロボット」出場、2-2古藏颯太、宮城彩群 教育センター実習「産業教育」（地域産業科1年対象） 第24回沖縄産業教育フェア「高校生美ら産フェア」 ポスターの部 優秀賞 3-3金城来実
11月19日	コミュニケーション能力向上講座（商業科・地域産業科2年対象）
11月20日	コミュニケーション能力向上講座（総合情報科2年対象）
11月20日	性教育講演会 講師：笹良秀美 演題「ライフサイクルと性の健康」
11月29日	危険物取扱者試験合格 乙種6類 3-1宮里尚芳
12月 5日	地方創生☆政策アイデアコンテスト2020「内閣府沖縄総合事務局賞」受賞 3-4入南風野朝日、金城咲愛、祖慶孝介、松田一花、3-5松本海奈
12月 8日	沖縄デジタル映像祭2020 特別賞受賞 3-4松田一花
12月 9日	FP講話（商業科・地域産業科2年対象）
12月 9日	沖縄県高等学校IT選手権新人大会 筆記部門 専門高校の部 団体2位、個人4位 2-3仲程聖英、個人5位 2-3運天悠之亮 表計算部門 団体1位、個人3位 2-3佐々木琉雄、1-3島本菜々実、 個人5位 2-3運天悠之亮、個人6位 2-3仲程聖英
令和2年 12月11日	3年商業科・地域産業科テーパーマナー講習会 於：沖縄マリオリゾート&スパ 第42回 九州高校放送コンテスト熊本大会 ラジオ番組部門入賞 『To be continued...』 2年5組 澤岬桃菜、1年3組 井手ひなた・山城小雪
12月15日	第57回全沖縄青少年読書感想文・画コンクール 課題図書の一部入選 3-4祖慶孝介
12月18日	総合情報科3年課題研究最終発表会 薬物乱用防止教室「薬物依存症の回復と支援」 講師：森廣樹（沖縄ダルク代表）
12月23日	サイバー犯罪防止講話 講師：沢辺 猛（沖縄県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課）
12月25日	2学期終業式 生徒総会ONAIR（校内放送）

年 月 日	沿 革
令和3年	1月 6日 3学期始業式 1月12日 第2回 学校評議委員会（文書開催） 1月25日 機械システム科・商業科・地域産業科3年生課題研究発表会 1月17日 第27回春季室内選手権水泳競技大会 男子200m平泳ぎ3位・男子50m平泳ぎ3位 2-3大城寛汰 1月22日 電気技術コース3年生課題研究発表会 第二種電気工事士合格 3-2 新川琉音、2-2 岸本成樹、玉城功大、仲村渠瑛斗、満井海輝、山田義倫 1月27日 2級建築施工管理技士学科試験合格 2-2上地寛光、大城拓未、松田理希 1月28日 第26回沖縄県工業高等学校生徒意見・体験発表大会出場 2-2松田理希 第32回建築設計製図競技会（小規模建築部門）最優秀賞 3-2兼次将太 （大規模建築部門）優秀賞 3-2金城颯、崎浜悠生 1月29日 第一種電気工事士合格 3-2 我部亮 2月13日 P T A校内美化・清掃活動 2月17日 2学年企業講話 参加企業：株式会社立松鉄工 沖縄海邦銀行 3月 1日 専門高等学校御下賜金記念優良卒業生表彰 3年2組 我部亮、3年3組 安村柚碧、 3年4組 金城咲愛 全国商業高等学校協会 卒業生成績優秀者表彰 3年4組 入南風野朝日 全国専門学科情報科高等学校長会 優良卒業生表彰 3年3組 棚原颯天 日本情報処理検定協会 検定委員長賞（三種目1級以上合格） 3年3組 志喜屋武琉、棚原颯天 第12回卒業式（機械システム科25名、電建システム科30名、総合情報科35名、商業科26名、 地域産業科14名、計130名卒業） 3月16日 第3回 学校評議委員会 3月24日 修了式・離任式

(2) 学籍(在籍・異動・休学・退学等) 状況

ア 学年学科別在籍(3月1日時点)

学年		1			2			3			在籍		
学科(コース)\\性別		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
機械システム		33	0	33	28	0	28	26	0	26	87	0	87
電建システム	電気技術	18	0	18	15	0	15	17	0	17	50	0	50
	建築技術	19	1	20	18	0	18	14	0	14	51	1	52
総合情報		24	12	36	29	6	35	29	6	35	82	24	106
商業	ワイスビジネス	商業科	商業科	商業科	4	13	17	3	11	14	21	56	77
	ビジネス情報	5	21	26	2	6	8	7	5	12			
地域産業	ファインズ	地域創生1年(0人)			0	4	4	2	4	6	2	8	10
	観光	0	19	19	3	11	14	0	8	8	3	38	41
合 計		99	53	152	99	40	139	98	34	132	296	127	423
退学者		0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
休学者		1	0	1	1	0	1	1	0	1	3	0	3
転出者		0	0	0	2	1	3	0	0	0	2	1	3
転入者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

イ 退学者数の推移(R2は3月1日時点)

年 度	H29	H30	H31	R2
1年	6	1	1	0
2年	3	0	0	1
3年	1	0	0	0
合計	10	1	1	1
中退率	2.0%	0.2%	0.2%	0.2%

※中退率は右表 5/1 時点の在籍により算出

ウ 休学者数の推移(R2は3月1日時点)

年 度	H29	H30	H31	R2
1年	0	2	2	1
2年	0	1	2	1
3年	0	1	0	1
合計	0	4	4	3
割合	0	0.9%	0.9%	0.7%
在籍(5/1)	505	465	427	421

(3) 学業成績状況

ア 成績優秀者数の推移

年 度	H29	H30	H31	R2
1年	25	25	39	53
2年	18	30	35	46
3年	28	31	31	29
合計	71	86	105	128

イ 各年度学年末単位保留者数の推移

年 度	H29	H30	H31	R2
1年	12	20	15	11
2年	41	11	19	12
3年	45	21	28	28
合計	98	52	62	51

ウ 追試状況

2年生	1回	2回	3回	4回
対象人数	10	5	4	4
(延べ)科目数	26	6	8	1
申込率	76.9	33.3	47.1	20.0
合格率	30.0	16.7	0	100

3年生	1回	2回	3回	4回	5回
対象人数	22	19	14	14	15
(延べ)科目数	54	23	15	10	23
申込率	94.4	57.5	53.6	43.5	85.2
合格率	27.5	52.2	33.3	50	87.0

※3年生の第5回の追試は今年度の単位保留科目

(4) 勤怠状況（学年末成績判定会議資料より）

7 皆出席者数の推移

年度	H29	H30	H31	R2
1年	30	23	12	21
2年	33	19	18	20
3年	15	11	10	10
合計	78	53	40	51

イ 勤怠状況（1～3年の合計）

年 度	H29	H30	H31	R2
欠席(日数)	3,996	3,937	3,687	2,419
欠課(時数)	4,593	3,839	4,215	6,514
SHR 遅刻 (回数)	2,150	2,361	2,947	3,438

ウ 出席率の推移

年度	H29	H30	H31	R2
1年	96.2	96.1	95.3	98.2
2年	94.6	95.2	96.0	96.0
3年	95.5	94.0	94.3	96.0

エ 出席不良者数(内、時数不足者数)

年度	H29	H30	H31	R2
1年	2(0)	2(0)	2(1)	2
2年	2(0)	4(2)	10(1)	13
3年	3(0)	3(1)	1(0)	19

※出席不良者とは無届欠席 18 日以上、SHR 遅刻 36 回以上、無届欠課 60 時間以上のうち、いずれかに該当する者

(5) 進路決定状況

7 学科別進路決定率の3カ年推移（令和2年度は、令和3年3月31日現在）

学科\年度	H29	H30	H31	R2
機械システム科	87.9%	91.7%	93.3%	100%
電建システム科	91.9%	94.3%	84.2%	100%
総合情報科	94.9%	88.9%	100.0%	91.4%
商業科	92.3%	94.1%	100.0%	96.2%
地域産業科	96.4%	97.1%	96.7%	78.6%
全 体	92.6%	93.2%	93.6%	94.7%

イ 過去の進路状況（令和2年度は、令和3年3月31日現在）

年度	卒業 者数	就職		進学		就職 進学	未定 者数	決定率
		県内	県外	県内	県外			
H29	163	46	18	59	28	0	12	92.6%
H30	176	52	28	68	16	0	12	93.2%
R1	141	43	20	42	26	1	9	93.6%
R2	131	38	10	55	21	0	7	94.7%

(6) 生徒指導の状況

7 懲戒指導件数（訓告以上：延べ人数）

年 度	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	R 2
懲戒指導数（件）	170	53	40	19	52	11

イ 今年度の問題行動別指導状況（※3月2日時点）

学 年	1 年 生		2 年 生		3 年 生		小 計		
懲戒の内容	男	女	男	女	男	女	男	女	計
飲酒	0	0	4	0	0	0	4	0	4
車両通学+喫煙用具所持	0	0	0	0	0	0	0	0	0
喫煙・煙草所持	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両通学	0	0	0	0	1	0	1	0	1
暴力行為	0	0	0	0	0	0	0	0	0
窃盗	1	0	0	0	0	0	1	0	0
迷惑行為	0	0	1	2	1	1	2	3	5
暴走行為	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 計	1	0	5	2	2	1	8	3	11
合 計	1		7		3		11		
*厳重注意(深夜徘徊)	0	0	0	0	1	0	1	0	1
*厳重注意(その他)	2	1	2	0	1	0	5	1	6

※（厳重注意）の件数は、懲戒の合計件数に含まれません※

ウ 懲戒種類別の件数

累計 P	懲戒の種類別	1 年	2 年	3 年	合計
12	無期停学	0	0	0	0
10	無期停学	0	0	0	0
9	無期停学	0	1	0	0
8	停学 10 日+特別 10 日	0	0	0	0
7	停学 10 日+特別 5 日	0	0	1	1
6	停学 10 日	0	0	0	0
5	停学 5 日+特別 10 日	0	0	0	0
4	停学 5 日+特別 5 日	1	1	0	2
3	停学 5 日	0	0	0	0
2	特別指導 10 日(訓告)	0	2	1	3
1	特別指導 5 日	0	3	1	4
合 計		1	7	3	11

(7) 長時間勤務状況

7 職員数

	校 長	教 頭	事 務 長	教 諭	講 師	養 護 教 諭	実 習 助 手	事 務	司 書	用 務 員	P T A 会 計	産 業 医	学 校 医	歯 科 医	薬 剂 師	A L T	就 職 支 援 員	特別支援教育 支援員	警 備 員	舎 監	そ の 他	合 計
男	1	2	—	28	3	—	6	1	1	1	—	1	1	1	1	1	1	—	1	1	—	51
女	—	—	1	23	1	1	4	3	—	1	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	37
計	1	2	1	51	4	1	10	4	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	88

イ 月別時間外勤務時間平均

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	平均
時間	12.3	10.1	25.9	26.0	14.3	24.2	25.7	22.9	22.2	21.8	20.5

ウ 長時間勤務状況(4月～1月までの平均)

	平成31年度		令和2年度		
	度数	割合	度数	割合	累積割合
100H 以上	0	0	0	0	0
90H～100H	0	0	0	0	0
80H～90H	0	0	0	0	0
70H～80H	1	1.4%	0	0	0
60H～70H	2	2.9%	0	0	0
50H～60H	1	1.4%	2	2.7%	2.7%
40H～50H	0	0.0%	2	2.7%	5.4%
30H～40H	7	10.1%	8	10.8%	16.2%
20H～30H	13	18.8%	11	14.9%	31.1%
20H 未満	45	65.2%	51	68.9%	100.0%

(2) 自己評価(アンケート結果考察)

①生徒アンケート

設問1「学校は楽しい」への肯定的な回答が47.9%、「どちらでもない」の回答が28.4%、否定的な回答は21.6%である。否定的な回答を学年別にみると、1学年23.40%、2学年25.0%、3学年16.0%となっており、「学校を楽しくない」と感じている生徒は2学年で割合が高く3学年と比べると9ポイントも高くなっている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により学校行事などを自粛している影響があるが、3年生は過去の楽しい思い出の経験があり、否定的な回答が低くなっていると考えられる。また、否定的な回答を科別にみると、機械システム科23.2%、電建システム科19.5%、総合情報科13.4%、商業科22.0%、地域産業科22.0%である。

学校を楽しくないと感じる要因をさぐるため、設問1「学校は楽しい」と設問4「学習支援」、設問5「わかりやすい授業」、設問6「個に応じた指導」、設問10「進路相談」、設問15「相談しやすい」、設問20「学校行事」をクロス集計し、「学校は楽しい」の問いに否定的な生徒の回答傾向を分析した(表1)。

表1 設問1で「不満である」または「あまり満足していない」の回答傾向

設問/年度	1不満である		2あまり満足していない		3どちらでもない		4ほぼ満足している		5満足している	
	R01	R02	R01	R02	R01	R02	R01	R02	R01	R02
設問4 学習支援	21.5%	19.5%↘	10.1%	13.4%↗	31.6%	24.4%↘	17.7%	22.0%↗	15.2%	17.1%↗
設問5 わかりやすい授業	26.6%	25.6%↘	16.5%	17.1%↗	36.7%	39.0%↗	16.5%	11.0%↘	1.3%	4.9%↗

	1不満である		2あまり満足していない		3どちらでもない		4ほぼ満足している		5満足している	
設問6 個に応じた学習指導	29.1%	29.3%↗	17.7%	23.2%↗	34.2%	29.3%↘	8.9%	8.5%↘	7.6%	8.5%↗
設問10 進路相談	24.1%	22.0%↘	26.6%	19.5%↘	21.5%	35.4%↗	16.5%	7.3%↘	8.9%	13.4%↗
設問15 教育相談	20.3%	32.9%↗	19.0%	17.1%↘	26.6%	24.4%↘	13.9%	9.8%↘	16.5%	13.4%↘
設問20 学校行事	32.9%	48.8%↗	16.5%	30.5%↗	26.6%	13.4%↘	11.4%	2.4%↘	11.4%	3.7%↘

「不満である」「あまり満足していない」の合計は、「学習支援」31.6%(H31)→32.9%(R02)、「わかりやすい授業」43.0%(H31)→42.7%(R02)、「個に応じた学習指導」46.8%(H31)→52.5%(R02)、「進路相談」50.6%(H31)→41.5%(R02)、「教育相談」39.2%(H31)→50.0%(R02)、「学校行事」49.4%(H31)→79.3%(R02)、となっており、H31 年度に比べ否定的な回答が減少しているのは「わかりやすい授業」と「進路相談」である。授業改善の取り組みと進路指導における3学年担任、進路指導部、各科の連携した取り組みに良い傾向が伺える。引き続き成果が出せるように努力を続けていきたい。行事については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり不満がかなり大きい。新年度は感染対策をしっかり行い、可能な範囲でできる活動を進めていく事が大切であると考え。「個に応じた学習指導」「教育相談」について否定的な回答が多い現状をしっかりと受け止めて、より指導を目指した職員研修や部や係の連携が必要である。

②保護者アンケート

調査項目26項目に平均 4.0 以上の評価がなく新型コロナウイルス感染症による学校行事の自粛や、PTA 総会等の保護者参加の取り組み等も控えた影響によるものと考えられる。特に評価が低かった項目は、「学校行事」に関しては 3.1 の厳しい評価であった。また、例年と同じように「生徒会活動」「部活動」が 3.3、「校内清掃」「保護者、地域の要望に応える」で 3.4 の評価であった。R02 年度は、「先生は子どものことについて、よく理解している」「学校は家庭への連絡や意思疎通を積極的にきめ細かく行っている」が 3.6 の評価で高くなっている。昨年度よりアンケートに加えた「学校は、体罰やいじめ暴力がない学校づくりを推進している」が 3.8 の高い評価を得ており、校内でのいじめ防止の取り組みが保護者に周知されているようである。

また、「生徒は楽しい学校生活を送っている」の問いに「あまり満足していない」または「不満である」と回答したのは 9%(H31 年度 4%)であった。生徒アンケートにもあったように感染症の影響で教育活動が自粛や小規模開催などの制限を余儀なくされている影響が大きいと考えている。保護者評価において、もっとも平均点が低いのは、H30 度は、「先生は、子どものことについて、よく理解している」の平均 2.7、「授業はわかりやすく、よく理解できている」の平均 3.0 であったが、H31 年度に続いて R02 年度は、平均点が 2 点台はなく本校の取り組みが保護者にも良い評価がされている。以上のことから、全体として改善傾向にあるが、引き続き、学校・家庭・地域の連携を密に、生徒の自主的活動の活性化を図り、自己有用感を高めるとともに、授業改善に関心が高い傾向にあることから、授業においては、主体的・対話的で深い学びの実践を拡充し、生徒理解及び授業改善に取り組む必要がある。

なお、今回の調査の回収率は 26.4%(H31 は 24.9%)にとどまっている。若干高くなったが引き続き、情報公開及び家庭への連絡により一層努め、学校評価に対する保護者の関心を高める努力が必要である。

③教職員アンケート

調査項目 32 項目で平均 3.2 以上の A 評価となっているのは 19 項目あり、上位2項目は「体罰への対応」、「いじめへの対応」が 3.6 である。次いで「資格取得」及び「いじめの早期発見」「いじめの早期対応」「教育相談の充実」である。今年度は新型コロナウイルス感染症の対応への意識も高く、「感染拡大防止の対策」「健康観察、体調不良者への早期対応」「進路指導」の評価項目が 3.5 で高い評価になっている。教職員としては、教育活動の安心、安全な環境を最優先におきながら、コロナ禍においても望ましい職業観・勤労観の育成に取り組むべきとの意識の高さがアンケートに反映されていると考えている。評価が低かった項目は、H31 年度と同様に、「部活動の活性化」(平均 R01:2.5→R02)、「生徒の自主的運営による行事」(平均 R01:2.6→R02)であった。引き続き、朝のあいさつ運動など生徒の体的な取組を展開するとともに、次年度、実施する学校行事(遠足等)の活性化に期待したい。また、「規範意識の育成」は平均 2.9 で、生徒の行動や言葉遣いの改善など相手を思いやる心の育成や規範意識向上の取組化を必要とする意見が上がった。

④共通項目の分析(13行)

生徒・保護者・教職員の三者ともに評価が高い項目は、「学校は体罰やいじめや暴力がない学校づくりを推進している」であった。今年度の学校経営目標の一つである「心身ともに健康であかるく安心・安全に過ごすことができる学校づくりの推進」を教職員が実践し、生徒や保護者からも評価が得られている。今後も良き校風、指示的風土の伴う魅力ある学校づくりに向けて継続した努力が必要である。「資格取得の取組」は、生徒と保護者から高く評価されており、各科において多くの生徒が資格検定に挑戦し、取得する生徒を輩出する実績等が評価されたと考えられる。また、「進学や就職のための講座や指導が充実している」は、年間計画に沿って各取組を実施し、進学76名、就職48名決定の成果が得られる等、生徒と教職員の評価が高い。一方で、この項目について保護者の評価は、「あまり満足していない」「不満である」の回答が合わせて保護者全体の15%あった。進路指導では生徒に向き合う中で、その指導の経緯についても保護者に説明できるように心がけて指導に臨む必要がある。

評価が低い項目は、生徒・保護者・教職員の三者ともに「生徒会」及び「部活動」「学校行事」の3項目であった。従来から評価の低い項目の上、新型コロナウイルスの感染拡大による活動自粛の影響で、今回の厳しい評価につながったと考えられる。次年度は、感染症対策を徹底して上で、生徒の自発的、自主的な活動を指導、支援しながらコロナ禍においてもできる活動や行事に取り組みせ、高校教育を通して得られる充実感や達成感を体験させるように取り組みたい。

四 学校関係者評価（自己評価に関する総括・指摘事項）

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、第1回、第2回の学校評議員会の開催を中止しましたが、第3回を開催し学校評価（自己評価）の報告を行い、学校評議員による学校関係者評価を実施した。また、本校PTA役員に対しては3月の役員会において学校評価（自己評価）の報告を行い、学校関係者評価を行いました。

○評議員

島 袋 紀 男	社会福祉法人いしなぐ福祉会管理者
末 松 信 吾	元名護商工高等学校PTA会長
島 袋 弘 光	株式会社シマコー社長
板 山 勝 樹	名桜大学国際学群 教授
木 下 義 章	元県立高等学校事務長

○PTA役員

会 長	與 儀 幸 江
副会長	仲 村 満
副会長	仲 村 裕
副会長	玉 城 千保巳

(1) 学校生活・運営

- ・学校の魅力をアピールするように取組を行ったら定員も増えるのではないのでしょうか（各学科の内容）
- ・機械、商業系学科の定員確保の課題はとても大事だと思います。特に商業系学科は毎年少ないので少しでも定員が増えるような努力が必要かと思います
- ・コロナ禍の影響で部活動は困難でしたね。
- ・毎年、部活加入率が少ないのが気になります。部活動加入者が増えたらもっと学校内が活発になるのかなと思う。加入しても退部する生徒も多いので頑張って続けて欲しい。
- ・特別支援教育について先生方の評価は高いのですが、生徒がどのようにおもっているかはわかりません。

- ・特別支援教育体制への取り組みはとても素晴らしいのでぜひ継続していただきたいです。
- ・「教室やトイレなど、校内がきれいである」の生徒アンケートより環境整備が必要ですね
- ・コロナ対策感染予防の実施、声掛けを今後も宜しくお願い致します
- ・年度内で駐車場の整備ができて良かったです。
- ・子ども達が安心して学校生活が送れるのも先生方の日々の感染症拡大防止を徹底しているおかげです。ありがとうございます。これからも継続して取り組んで欲しいです。宜しくお願いします。
- ・保護者アンケート「広報誌やマスコミ、ホームページ、メーリングサービス等を活用して広報が充実している」の回答で「満足している」「ほぼ満足している」との回答が62%と高く評価されています。
- ・名護商工高校の教育内容や実績が地域の中学生にまだ十分周知されていないと思う。わかりやすい資料を作成して周知に努めてはどうか。
- ・中学への広報活動はとても大事です。次年度もできる範囲で広報活動を実施して欲しいです。
- ・保護者アンケートの全体から一定の信頼を得ていると思います。
- ・コロナの影響で今年度はほぼ行事 が中止になり、活動ができなかったため、先生方との連携も図れず、また保護者との関わりも取れなかったので次年度は（コロナの影響にもよりますが）限られたルールの中で何か活動できればと思います。

(2) 学習指導

- ・「先生は生徒の性格や特徴をよく理解し、個に応じた学習指導に努めている」の質問に対して「あまり満足していない」「不満である」と回答した生徒が24%います。
- ・「学校は、各種講座など、資格取得の取組みが充実している」の質問について68%の生徒が「満足している」「ほぼ満足している」と回答しています。
- ・バスの時間で受講できないのは仕方ないとして、バイトの都合で受講できないのはとても残念です。先生方も検定対策を下さっているのも一人でも多くの生徒が受講するよう私たち保護者も子ども達へ伝えたいです。

(3) 進路指導

- ・高校1年生から、3年生になったときを意識させて進路指導をした方が良い
- ・コロナの影響で進路変更をした際に、先生が丁寧に対応して下さったと聞きました。急な変更をするとなると保護者も色々不安になりがちですが、急な変更でも丁寧に対応して下さると保護者の不安も消え、新しい進路に向けての準備ができたと思います。
- ・生徒保護者の進路希望を把握し正確な進学情報を共有できる環境を整えて欲しい。
- ・資格の重要性を自覚させるための指導方法を研究し、生徒が自己の将来を見据えた資格取得を探索するよう支持するとともに部活動顧問との連携を密にし放課後などの指導を充実してはどうでしょうか
- ・「将来の職業や働くことについて先生方から適切なアドバイスが得られた」ことに対して、「あまり満足していない」「不満である」と回答した生徒が18%いる状態を減らしたいですね。

(4) 生徒指導

- ・懲戒数が激減していることから、効果的な生徒指導がなされていると思いました。
- ・毎年心配なのがSNS等の使い方です。各家庭でも注意しているとは思いますが、学校でも引き続きご指導お願いします。
- ・生徒アンケート「いじめの早期発見に努めている」「いじめの事実確認などいじめの解消に向けた対応を行っている」の質問に対して、「あまり満足していない」「不満である」と回答した生徒が、それぞれ20%ずついます。
- ・定期的にクラスや学年で雰囲気づくりに関する声掛けや標語などの掲示を行ってはどうですか
- ・いじめ防止に関しての対策はとても素晴らしいと思います。取り組みこれからも継続していただきたいです。